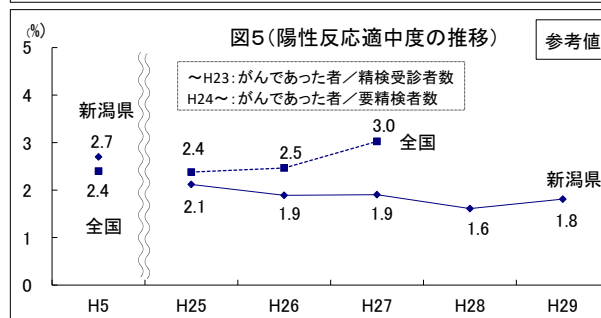
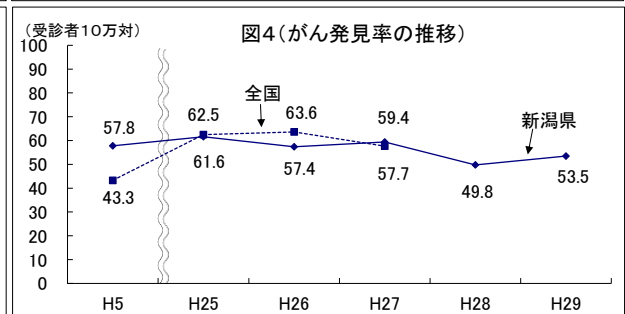
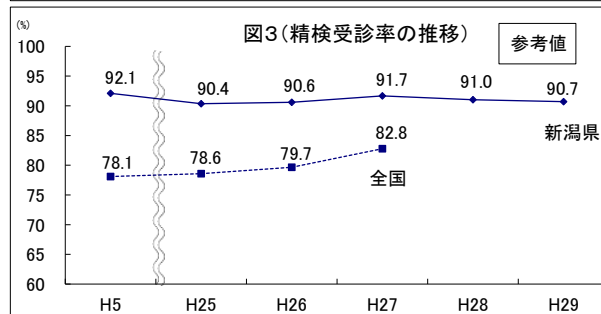
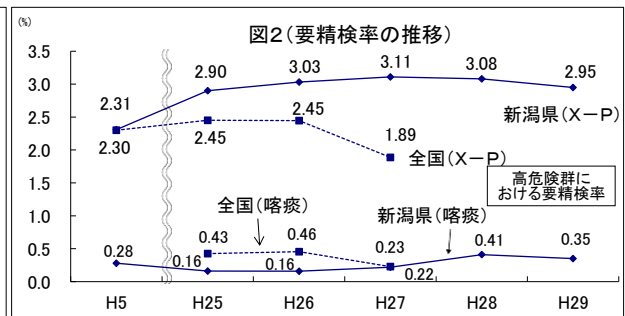
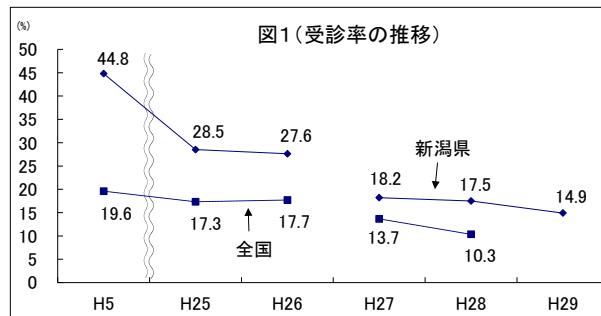


3 肺がん検診 肺がん検診結果の推移

		H5	H25	H26	H27	H28	H29
	推計人口（4/1 40歳以上）	1,283,271	1,437,356	1,441,971	1,445,517	1,450,600	1,451,747
	対象者数	787,512	784,764	807,228	1,232,680	1,264,086	1,454,475
	受診者数	352,775	223,976	223,088	224,008	221,057	216,986
	受診率（人口割合）（%）	27.5	15.6	15.5	15.5	15.2	14.9
	受診率（対象割合）（%）	44.8	28.5	27.6	18.2	17.5	14.9
市部・町村別	市部対象者数	498,225	757,128	779,642	1,186,451	1,212,663	1,401,499
	市部受診者数	167,088	211,142	210,444	211,506	208,894	205,261
	受診率（対象割合）（%）	33.5	27.9	27.0	17.8	17.2	14.6
	町村部対象者数	289,287	27,636	27,586	46,229	51,423	52,976
	町村部受診者数	185,687	12,834	12,644	12,502	12,163	11,725
	受診率（対象割合）（%）	64.2	46.4	45.8	27.0	23.7	22.1
X線胸部検査	胸部X線受診者数	352,577	223,976	223,088	224,008	221,057	216,986
	要精検者数	8,140	6,499	6,764	6,975	6,807	6,395
	要精検率（%）	2.31	2.90	3.03	3.11	3.08	2.95
	精検受診者数		5,992	6,208	6,461	6,272	5,862
	精検受診率（%）		92.2	91.8	92.6	92.1	91.7
喀痰細胞診	対象者数（高危険群）	43,397	32,380	35,099	32,937	33,407	33,302
	採痰者数（高危険群）	21,144	8,097	6,299	5,363	5,316	5,091
	採痰率（%）	48.7	25.0	17.9	16.3	15.9	15.3
	要精検者数（高危険群）	60	13	10	12	22	18
	要精検率（%） <small>（高危険群における要精検率）</small>	0.28	0.16	0.16	0.22	0.41	0.35
	精検受診者数（高危険群）		8	7	10	11	14
	精検受診率（%）		61.5	70.0	83.3	50.0	77.8
発見方法別	がんであった者	204	138	128	133	110	116
	X線	178	131	125	125	108	111
	喀痰	20	4	0	1	1	3
	X線＋喀痰	6	3	3	2	1	2
	がん発見率（受診者10万人対）	57.8	61.6	57.4	59.4	49.8	53.5
	一般群	33.6	40.3	37.2	39.3	31.6	40.6
	高危険群	229.7	174.4	165.2	166.3	147.5	121.7
	がんの疑いのある者	83	239	269	301	311	354
	精検結果不明者	387	124	79	65	80	64
	精検未受診者	277	504	558	514	533	533



データ出典：新潟県『胸部検診結果報告』
厚生労働省『地域保健・老人保健事業報告』（～H19年度）
厚生労働省『地域保健・健康増進事業報告』（H20年度～）

注1）報告市町村単位は、原則として毎年4月1日現在の市町村（年度中に合併した場合などを除く）
注2）精検受診率（全国）の算出方法について
精検受診率（全国）＝（要精検者数－未把握者数－未受診者数）／要精検者数×100
注3）新潟県の要精検（X線判定）の扱いについて
新潟県における要精検には、D及びEと判定されたものを含む。
なお、地域保健・健康増進事業報告上の要精検は、E判定のみであり、Dと判定されたものは含まない。
注4）新潟県の要精検者数について、X線と喀痰のいずれも要精検であった者の実数が不明のため、参考値として下記のとおり扱った。
要精検者数＝X線要精検者数＋喀痰要精検者数
精検受診者数＝要精検者数－（精検結果不明者数＋未受診者数）
陽性反応適中度＝がんであった者／要精検者数（H24～）
（～H23：がんであった者／精検受診者数）
注5）図1（受診率の推移）のH27受診率について
H26年度までは、職域を除く対象者数を計上することとされていたが、H27年度からは職域を含む対象者数を計上することとなった。（厚生労働省より）
これに伴い、H27の受診率はH26に比べ低くなっている。